

# 日本語 Advanced Printing Software

---

## リリース・ノート

2001 年 9 月

ソフトウェア・バージョン: 日本語 Advanced Printing Software バージョン 1.1

オペレーティング・システム: Tru64 UNIX バージョン 4.0F 以降

本書は、日本語 Advanced Printing Software バージョン 1.1 のリリース・ノートです。

---

コンパックコンピュータ株式会社

---

© 2001 Compaq Computer K.K.

本書の著作権はコンパックコンピュータ株式会社が保有しており、本書中の解説および図、表はコンパックコンピュータの文書による許可なしに、その全体または一部を、いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

コンパックコンピュータは、弊社または弊社の指定する会社から納入された機器以外の機器で対象ソフトウェアを使用した場合、その性能あるいは信頼性について一切責任を負いかねます。

本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、弊社は一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア(対象ソフトウェア)は、所定のライセンス契約が締結された場合に限り、その使用あるいは複製が許可されます。

COMPAQ, Compaq ロゴ, Digital ロゴは U.S. Patent and Trademark Office に登録されています。Alpha, AlphaServer, NonStop, TruCluster, および Tru64 は米国 Compaq Computer Corporation の商標です。

Microsoft, Windows および Windows NT は米国 Microsoft 社の登録商標です。Intel は米国 Intel 社の登録商標です。Motif, OSF/1, UNIX, The Open Group および X/Open は、The Open Group の米国ならびに他の国における商標です。

このドキュメントに記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

PrintXchange は米国 Xerox 社の商標です。

Advanced Printing Software は、米国 Xerox 社の PrintXchange の技術をベースにしています。

---

# 目次

## まえがき

## 1 日本語 Advanced Printing Software バージョン 1.1 の情報

- 1.1 日本語 Advanced Printing Software のインストール .. 1-1
- 1.2 日本語 Japanese Advanced Printing Software サブセットのインストールについて ..... 1-1
- 1.3 日本語 Advanced Printing Software でサポートされる日本語プリンタ ..... 1-2

## 2 追加および変更された機能

- 2.1 新しいプリンタのサポート ..... 2-1
- 2.2 TruCluster 環境でのサーバ構成のサポート ..... 2-1
- 2.3 LDAP ネーム・サービスのサポート ..... 2-1
- 2.4 翻訳フィルタの例 ..... 2-1
- 2.5 ドキュメンテーションに関する変更 ..... 2-2

## 3 制限事項

- 3.1 複数のスプーラに接続するスーパバイザ ..... 3-1
- 3.2 ファイル名にコロンを含むファイルは印刷できない ..... 3-1
- 3.3 xxx-supported 属性のいくつかは GUI からは認識できない ... 3-1
- 3.4 イベント通知に互換性がない ..... 3-2
- 3.5 N アップおよび印刷の向きの制限 ..... 3-2
- 3.6 インバウンド・ゲートウェイの制限事項 ..... 3-2
- 3.6.1 インバウンド・ゲートウェイおよび lpr のオプション .... 3-2
- 3.7 pdclean および pdshutdown コマンドは非同期 ..... 3-3

## 4 既知の問題

4.1	使用不能のスーパーバイザへのプリントにより過度なシステム負荷が起こる .....	4-1
4.2	Administration GUI (pdprintadmin) の問題 .....	4-2
4.2.1	Advanced Printing Software GUI は代替ディスプレイを使用しない .....	4-2
4.3	アウトバウンド・ゲートウェイ .....	4-2
4.3.1	printer-address 属性の変更 .....	4-2
4.3.2	アウトバウンド・ゲートウェイからの分かりにくいエラー・メッセージ .....	4-2
4.4	ファイルの印刷 .....	4-3
4.4.1	長さがゼロ (0) のドキュメント・ファイルの処理 .....	4-3
4.4.2	ファイル名にコロン (:) を含むファイルは印刷できない ..	4-4
4.5	スーパーバイザのシャットダウン .....	4-4
4.5.1	pdshutdown -w after-current コマンド .....	4-4
4.5.2	pdshutdown -w after-all コマンド .....	4-4
4.6	保持中のジョブは削除できない .....	4-4
4.7	job-retention-period はスケジュール済みのジョブに対して設定できない .....	4-5
4.8	output-bins 属性に値を追加できない .....	4-5
4.9	pdpromote エラー・メッセージ .....	4-5
4.10	クライアント属性は任意のオブジェクトに対して要求または設定できる .....	4-5
4.11	デルタ時間の出力フォーマットが不明瞭 .....	4-6
4.12	通知に関する制限事項 .....	4-6

## 5 ドキュメントに関する注意事項

5.1	通知変更のための X ホスト・アクセス .....	5-1
-----	---------------------------	-----

---

# まえがき

本書は、Tru64 UNIX オペレーティング・システムが稼働しているシステムのための、日本語 Advanced Printing Software バージョン 1.1 のリリース・ノートです。

## 対象読者

このリリース・ノートは、日本語 Advanced Printing Software のインストール担当者、およびインストール後にこの製品を使用するユーザを対象としています。

## 本書の構成

本書の構成は次のとおりです。

- |       |   |
|-------|---|
| 第 1 章 | 日本語 Advanced Printing Software バージョン 1.1 に関する情報について説明します。 |
| 第 2 章 | 追加および変更された機能について説明します。                                    |
| 第 3 章 | このソフトウェアの制限事項について説明します。                                   |
| 第 4 章 | このソフトウェアの既にわかっている問題点について説明します。                            |
| 第 5 章 | ドキュメントに関する注意事項を記載します。                                     |

## 関連資料

Advanced Printing Software のユーザおよび管理者のために、次のマニュアルおよびオンライン・ヘルプが用意されています。

- |  |   |
|--|---|
| 日本語 <i>Advanced Printing Software</i> システム管理/操作ガイド | プリント・システムを構成および管理するために管理者およびオペレータが実行するタスクについて説明します。 |
| <i>Advanced Printing Software</i> コマンド・リファレンス・ガイド  | ユーザおよび管理者が使用できるすべてのコマンド行インタフェース・コマンドについて説明します。      |

*Advanced Printing  
Software* ユーザ・  
ガイド

プリント・ジョブの実行およびモニタを行う  
方法について説明します。

*Advanced Printing  
Software GUI* ヘル  
プ・ファイル

ヘルプ・ボリュームには、*pdprintadmin*、*pdprint*、  
および *pdprintinfo* GUI クライアント・プログラ  
ムからアクセスすることができます。

---

## 日本語 Advanced Printing Software バージョン 1.1 の情報

この章では、日本語 Advanced Printing Software バージョン 1.1 に関する情報について説明します。

### 1.1 日本語 Advanced Printing Software のインストール

本リリースでは、Tru64 UNIX「Associated Products Volume 2」CD-ROM に Advanced Printing Software の標準版キットと日本語キットが含まれています。Advanced Printing Software を利用して日本語プリンタに出力したい場合は、両方のキットをシステムにインストールする必要があります。

### 1.2 日本語 Japanese Advanced Printing Software サブセットのインストールについて

日本語 Japanese Advanced Printing Software サブセット Japanese Advanced Printing Software BASE and Client Commands (IOSJPAPXBASE520) および Japanese Advanced Printing Software Graphical User Interface (IOSJPAPXGUI520) をインストールする場合、インストール前に touch コマンドで次のようにファイルを作成しておく必要があります。

1. root でログインします。
2. カレント・ディレクトリを /usr/.smdb. に設定します。
3. touch コマンドで次のファイルを作成します。

```
# cd /usr/.smdb.
```

```
# touch APXBASE110.1k APXGUI110.1k
```

また、あらかじめ Advanced Printing Software の標準版キットをインストールしておく必要があります。

## 1.3 日本語 Advanced Printing Software でサポートされる 日本語プリンタ

Advanced Printing Software の日本語キットには、次の日本語プリンタに日本語テキスト・ファイルまたは日本語 PostScript ファイル (プリンタが日本語 PostScript 対応の場合) を出力するための環境が用意されています。

- ページ・プリンタ (PostScript 対応) :

日本語 DIGITAL PrintServer17  
EPSON LP-9200 PS3  
EPSON LP-8400 PS3  
OKI MICROLINE 701N3  
OKI MICROLINE 703N3  
OKI MICROLINE 900PS3LT  
OKI MICROLINE 903PS3  
RICOH IPSiO NX710  
RICOH IPSiO NX800  
RICOH IPSiO NX1100  
FUJI XEROX DocuPrint201PS

- ページ・プリンタ (PostScript 未対応) :

EPSON LP-9200 SX

- インパクト・プリンタ :

OKI MICROLINE 8370 SE  
OKI MICROLINE 8580 SE



---

## 追加および変更された機能

この章では、Advanced Printing Software の本リリースで新規に追加された機能および変更された機能について説明します。

### 2.1 新しいプリンタのサポート

次のプリンタに対するサポートが追加されました。

Compaq LNM40 Laser Printer (40 ppm)  
HP LaserJet 4050 Series Laser Printers  
HP LaserJet 5000 Series Laser Printers  
HP LaserJet 8100 Series Laser Printers  
Lexmark Optra Se 3455 Laser Printer  
Lexmark Optra W810 Wide Format Laser Printer  
Lexmark Optra C710 Color Laser Printer

### 2.2 TruCluster 環境でのサーバ構成のサポート

現在、TruCluster Server 環境では、スプーラおよびスーパーバイザを高可用性アプリケーションとして構成することができます。TruCluster 環境でのサーバの構成については、『システム管理/操作ガイド』を参照してください。

### 2.3 LDAP ネーム・サービスのサポート

Advanced Printing Software の本バージョンでは、ネーム・サービスとして LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) をサポートします。LDAP は、プリント・オブジェクトが作成または削除される際に、ネーム・スペースを動的に更新するという点で NIS より優れています。LDAP クライアントの構成情報と、LDAP ディレクトリ・サービスの設定例については、『システム管理/操作ガイド』を参照してください。

### 2.4 翻訳フィルタの例

Advanced Printing Software の本リリースでは、翻訳フィルタの例が提供されています。このフィルタを使用すれば、印刷プロセスの一部として、

Adobe の Acrobat Reader プログラムを使用することにより , PDF (Portable Document Format) から PostScript ヘドキュメントを動的に変換することができます。

このフィルタの使用方法についての詳細は , /usr/pd/examples/pdf-setup.txt を参照してください。

## 2.5 ドキュメンテーションに関する変更

Advanced Printing Software ドキュメント・セットは , Tru64 UNIX ドキュメンテーションのウェブ・サイトから入手することができます。このウェブ・サイト上のドキュメントは , 内容の変更や修正をサポートするために , 定期的に更新されます。詳細については , 次のウェブ・サイトを参照してください。

[http://www.tru64unix.compaq.com/faqs/publications/pub\\_page/pubs\\_page.html](http://www.tru64unix.compaq.com/faqs/publications/pub_page/pubs_page.html)

---

## 制限事項

以降の各節で、Advanced Printing Software の制限事項について説明します。

### 3.1 複数のスプーラに接続するスーパーバイザ

スーパーバイザ・プロセス (pdspvr および pdspv1pr) は 1 つのスプーラとだけ通信を行うことができます。スーパーバイザ・プロセスでは、任意の数のスプーラ上のキューに関連付けられている物理プリンタを設定することが可能ですが、プリンタをこのように構成することはサポートされていないため、動作しません。キューが物理プリンタに関連付けられている最初のスプーラだけが通信を行うことができ、他のスプーラを参照するユーザ作成の物理プリンタは、動作しません。

プリント・システム構成を計画する際には、必ずこの制限に従うようにしてください。

### 3.2 ファイル名にコロンを含むファイルは印刷できない

プリンティング・システム、特に POSIX CLI インタフェースは、フィールド分離文字としてコロン (:) を使用します。ファイル名にコロンが含まれているプリンティング・ファイルでは、プリント要求で構文解析エラーが生じます。したがって、プリント・システムでは、ファイル名にコロンが含まれているファイルの印刷をサポートしません。

そのようなファイルを印刷する必要がある場合には、まず、コロンを含まないような新しいファイル名に変更してください。

### 3.3 xxx-supported 属性のいくつかは GUI から認識できない

Admin GUI には、プリンタでサポートされている属性および利用できる属性を変更するためのツールが用意されています。このツールを使用すると、プリンタ属性 (任意のプリンタでサポートされているか利用できる属性) の決められたリストから選択できるようになります。ただし、このリストには、

media-supported, fonts-supported, page-select-supported を含め、いくつかの共通の属性は含まれていません。リストにない属性を設定する必要がある場合は、pdset コマンドを使用して設定しなければなりません。

### 3.4 イベント通知に互換性がない

バージョン 1.01 のリリースで、イベント通知メッセージの送信に使用される通信プロトコルに対して変更が行われました。バージョン 1.0 では、ToolTalk プロトコルを使用して、サーバからクライアントにイベント通知メッセージが伝達されていました。ToolTalk プロトコルに対して最近行われたセキュリティの強化により、イベント伝達の信頼性がなくなったため、このプロトコルの変更が必要になりました (ToolTalk の変更についての詳細は、<http://www.service.digital.com/patches>、パッチ・ファイル SSRT0617U\_ttsession.tar を参照してください)。

この変更により、Advanced Printing Software V1.0 を実行するクライアントは、Advanced Printing Software V1.01 または V1.1 を実行するサーバ・システムからコンソール/GUI 通知メッセージを受け取ることができません。バージョンの組み合わせに関係なく、電子メール通知は継続して機能します。コンソール/GUI 通知を使用する際には、すべてのシステムを V1.1 にアップグレードするようにしてください。

### 3.5 N アップおよび印刷の向きの制限

PostScript プリンタで印刷されるシンプル・テキスト・ドキュメント以外のドキュメントでは、N アップ (用紙あたりの印刷ページ数) および印刷の向きは、サポートされていません。

### 3.6 インバウンド・ゲートウェイの制限事項

インバウンド・ゲートウェイをインストールして使用する際には、多数の制限事項があるため、注意が必要です。以降の各項でこれらの制限事項について説明します。

#### 3.6.1 インバウンド・ゲートウェイおよび lpr のオプション

インバウンド・ゲートウェイですべての lpr オプションがサポートされているわけではありません。サポートされているオプションについては、『システム管理/操作ガイド』の 10 章「LPD インバウンド・ゲートウェイ・マッピング」の節を参照してください。

`lpr` オプションの中には、対応するプリンタ・オプションが Advanced Printing Software 論理プリンタでサポートされていない場合、メッセージを表示しないでジョブを異常終了させるものがあります。

たとえば、`lpr -K2` (両面印刷) を使用してジョブを実行したときに、Advanced Printing Software 論理プリンタが両面印刷をサポートするように構成されていない場合、そのジョブはスプーラにより拒否され、メッセージは何も表示されません。

### 3.7 `pdclean` および `pdshutdown` コマンドは非同期

`pdclean` コマンドおよび `pdshutdown` コマンドは両方とも非同期です。つまり、これらのコマンドは、実行が完了する前に返ってきます。これらのコマンドは、スクリプトで他のコマンドを使用して `pdclean` または `pdshutdown` コマンドの実行状況をモニタし、それらの実行が完了するのを待機している場合を除き、スクリプト内で使用するべきではありません。



## 既知の問題

以降の各節では、Advanced Printing Software で既にわかっている問題について説明します。

### 4.1 使用不能のスーパーバイザへのプリントにより過度なシステム負荷が起こる

`pddisable(1)` コマンドまたは `pdprintadmin` GUI ツールでスーパーバイザ・サーバを使用不能にしたとき、そのスーパーバイザによって制御されているプリンタに対して、関連するスプーラがジョブのスケジューリングを継続している場合、スーパーバイザおよびスプーラ・プロセスは、CPU 負荷を過度に使用します。この状況で、スプーラはジョブのスケジューリングを続行しようとし、スーパーバイザはそれらのジョブを拒否します。

対処方法として、次のいずれかの方法を使用して、スーパーバイザ上のすべての印刷を中止してください。

- `pddisable(1)` コマンドで物理プリンタを使用不能にする。  
各物理プリンタに対して `pddisable(1)` コマンドを発行するか、または 1 つの `pddisable` コマンドにすべての物理プリンタを指定します。
- `pdshutdown(1)` コマンドでスーパーバイザ・プロセスをシャットダウンする。  
これにより、スーパーバイザ・プロセスが停止します。スプーラは依然としてジョブを受け付けますが、スーパーバイザが再起動されるまで、それらのジョブを印刷のためにスケジューリングすることはありません。スーパーバイザの再起動は、サーバ・マシン上のスーパーユーザ・アカウントから行う必要があります。

スーパーバイザを不注意で使用不能にし、スーパーバイザが CPU リソースを過度に使用しているのがわかった場合は、`pdenable(1)` コマンドを使用してスーパーバイザを再度使用可能にした後、前述のいずれかの対処方法を使用して、すべての印刷を一時的に停止してください。

## 4.2 Administration GUI (pdprintadmin) の問題

次の問題は、Administration GUI (Admin GUI) に影響を及ぼします。

### 4.2.1 Advanced Printing Software GUI は代替ディスプレイを使用しない

リモートの X 端末または X サーバから Advanced Printing Software GUI クライアント・プログラム (pdprint, pdprintinfo, pdprintadmin) を使用する場合には、それらのプログラムを実行する前に、DISPLAY 環境変数を使用してディスプレイを指定しなければなりません。DISPLAY 変数を定義しておらず、代わりに -display オプションを使用しているときに、pdprintinfo または pdprintadmin プログラムから印刷動作を起動すると、使用中のディスプレイではなく、ホスト・ワークステーションに pdprint ダイアログ・ボックスが表示されます。

## 4.3 アウトバウンド・ゲートウェイ

以下の問題は、アウトバウンド・ゲートウェイに関連しています。

### 4.3.1 printer-address 属性の変更

アウトバウンド・ゲートウェイ・スーパーバイザ (pdspvlp) によってサポートされている物理プリンタの printer-address 属性を変更する場合、新しいアドレスを有効にするために、そのスーパーバイザを一度シャットダウンして再起動する必要があります。

次のコマンドを使用して、lpd アウトバウンド・ゲートウェイをシャットダウンしたのちに再起動して、新しいプリンタ・アドレスが使用できるようにします。サーバをシャットダウンして再起動するには、root でなければなりません。

```
# pdshutdown -c server server_name
# /usr/pd/lib/pdspvlp server_name
```

### 4.3.2 アウトバウンド・ゲートウェイからの分かりにくいエラー・メッセージ

lpd アウトバウンド・ゲートウェイ・スーパーバイザ (pdspvlp) 上に物理プリンタを作成しようとしたときに、有効な printer-address 属性が定義され



ていなければ、`pdenable` コマンドを使用してそのプリンタを有効にしようとすると、次のようなメッセージが表示されます。

```
physical printer name The operation failed in  
the supervisor backend.
```

`pdset` コマンドを使用して、`printer-address` 属性を定義する必要があります。定義する際には、リモート・システム名、リモート・プリンタ、および拡張ファミリのフィールドを指定します。これら 3 つのフィールドは、コマンドで区切って (空白は入れない)、順番に指定しなければなりません。

たとえば、リモート・マシン `bigred` にリモート・プリンタ `xjprint` を設定し、純粋な RFC 1179 プロトコルを使用するには、次のように `printer-address` 属性を定義します。

```
# pdset -c printer \  
-x printer-address=bigred,xjprint,1179 bigred_pp
```

LPD アウトバウンド・ゲートウェイを経由して接続されているプリンタに適用する場合に必要な `printer-address` 属性のフォーマットについての詳細は、『Advanced Printing Software システム管理/操作ガイド』を参照してください。

## 4.4 ファイルの印刷

以下の問題は、ファイルの印刷に関連しています。

### 4.4.1 長さがゼロ (0) のドキュメント・ファイルの処理

長さが 0 のドキュメント (データ・バイトを持たないファイル) を印刷しようとすると、`pdpr` コマンドは次のようなメッセージを表示します。

```
An internal error has occurred.
```

長さが 0 のドキュメントを 1 つと、長さが 0 でないドキュメント 1 つまたは複数を同じジョブで印刷しようとすると、長さ 0 のドキュメントの後ろに指定したドキュメントは印刷されず、次のようなメッセージが表示されます。

```
Insufficient memory in client program
```

これらのメッセージは無視してかまいません。`internal error` は、重大ではありません。

#### 4.4.2 ファイル名にコロン (:) を含むファイルは印刷できない

プリンティング・システム，特に POSIX CLI インタフェースは，フィールド分離文字としてコロン (:) を使用します。ファイル名にコロンが含まれているプリンティング・ファイルでは，プリント要求で構文解析エラーが生じます。したがって，プリント・システムでは，ファイル名にコロンが含まれているファイルの印刷をサポートしません。

そのようなファイルを印刷する必要がある場合には，まず，コロンを含まないような新しいファイル名に変更してください。

### 4.5 スーパバイザのシャットダウン

以降の各項では，`pdshutdown` コマンドが発行された後のジョブの状態に関連する問題について説明します。

#### 4.5.1 `pdshutdown -w after-current` コマンド

稀ですが，スーパバイザ上でコマンド `pdshutdown -w after-current` を発行すると，ジョブが正常に終了しないで，`held` (保留) 状態に置かれることがあります。

スーパバイザをシャットダウンした後に，ジョブが `held` 状態に置かれていることに気づいた場合は，`job-hold` 属性を `no` に設定することにより，後で印刷することができます。

#### 4.5.2 `pdshutdown -w after-all` コマンド

一時停止されている物理プリンタに関連付けられている論理プリンタを制御するスプーラに対し，`-w after-all` を指定して `pdshutdown` コマンドを発行すると，スプーラは後処理中の状態のままになります。

このような状態になった場合は，`-w` オプションを指定せずにもう一度 `pdshutdown` コマンドを発行すると，スプーラをシャットダウンすることができます。

### 4.6 保持中のジョブは削除できない

`pdrms` コマンドを使用して保持中のジョブを削除すると，次のようなメッセージが表示されます。

```
"The job has completed or has already been cancelled."
```

## 4.7 job-retention-period はスケジュール済みのジョブに対して設定できない

ジョブに `job-retention-period` 属性を設定して、印刷が完了した後に保持されるようにすることができます。ただし、一旦、物理プリンタ上での印刷がスケジュールされたジョブには、この属性を設定することはできません。

## 4.8 output-bins 属性に値を追加できない

他の `xxx-supported` 属性や `xxx-ready` 属性と異なり、`output-bins-supported` 属性および `output-bins-ready` 属性は、CLI `+=` 演算子を使用して、値を追加することはできません。同様に、`-=` 演算子を使用して、個々の要素を削除することもできません。これらの属性に対して個々の排出トレイの値の追加や削除を行う必要がある場合は、`=` 演算子を使用してすべての値を再定義しなければなりません。

たとえば、`output-bins-supported` の値が `top side` のとき、このリストに `bottom` を追加したい場合は、次のように属性全体を再定義する必要があります。

```
# pdset -c p -x output-bins-supported="top side bottom"
```

## 4.9 pdpromote エラー・メッセージ

`pdpromote` コマンドは、1つのジョブをプリント・キューの先頭に移動します。複数のジョブを指定して `pdpromote` コマンドを入力すると、コマンドはエラー・メッセージを返しますが、コマンド行の最初に指定されたジョブだけを移動します。

## 4.10 クライアント属性は任意のオブジェクトに対して要求または設定できる

クライアント属性やコマンド属性は、そのオブジェクトに対して有効な属性でなくても、任意のオブジェクトに対して要求したり設定したりすることができます。たとえば、次のコマンドは、`retention-period` がキュー・オブジェクトに対して有効な属性でなくても、空の値を返します。

```
# pdls -c queue -r retention-period red_qu  
retention-period  
-----
```

また、無効な属性を設定できるオブジェクトもあれば、無効な属性を設定できないオブジェクトもあります。次の例は、設定できる属性のいくつかを示しています。

```
# pdset -c queue -x retention-period=2 red_qu
# pdset -c queue -x style=line red_qu
```

## 4.11 デルタ時間の出力フォーマットが不明瞭

要求している属性値がデルタ時間で表現されている場合、属性の3つのフィールドがすべて設定されていなければ、CLIは不明瞭な値を返します。次の例は、`job-retention-period` 属性に時間を設定する方法と、この属性の値を参照するときどのように出力されるかを示しています。

```
# pdset -c job -r job-retention-period=2 13055
# pdls -c job -r job-retention-period 13055
```

```
job-retention-period
-----
02
```

02 は、2 時間か、2 分か、あるいは2 秒を指しているのか不確かかもしれませんが、この場合は2 分を指しています。

## 4.12 通知に関する制限事項

CLI 通知プロファイルまたは GUI で、「クラス」による通知メッセージを選択すると、動作しません。通知を受信したい個々のイベントを指定する必要があります。

---

## ドキュメントに関する注意事項

この章では、ドキュメントの既知の問題について説明します。

### 5.1 通知変更のための X ホスト・アクセス

『ユーザ・ガイド』の 3.5.2 項に、通知メッセージを受信するためにはホスト・システムに X アクセスを与える必要があると記述されています。通知メッセージを受信するために、X アクセスはもう必要ありません。